

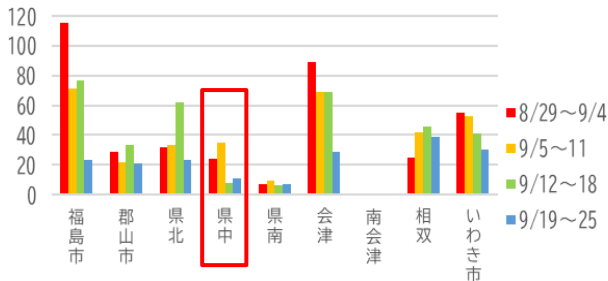
県中地域感染症シター秋号 ～手足口病・RSウイルス感染症～



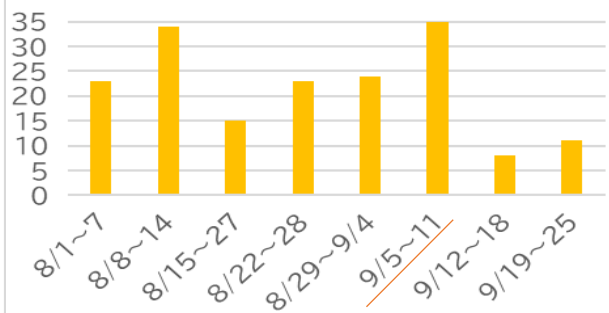
県内では発熱や鼻水などの症状が出現する**RSウイルス感染症**が増えています。
また、県中地域では**手足口病**の流行が続いています。
どんなことに気を付ければよいか、お伝えします！



県内の手足口病の発生状況



県中地域の手足口病の発生状況



手足口病とは？

※ 糞口感染 便の中に排出されたウイルスが手などを介して口に入って感染すること

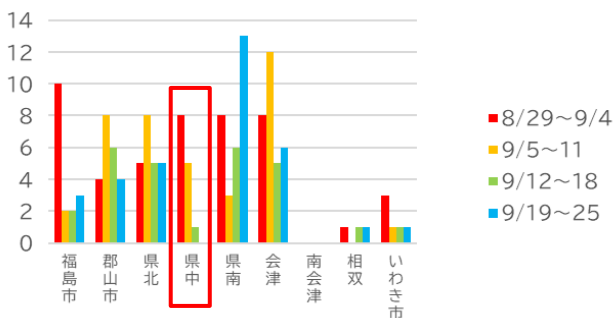
ウイルスの感染によって、名前のとおり**口の中や手足などに水疱性の発疹**がでる感染症です。子供（多くは5歳以下）を中心に主に**夏に**流行します。感染経路は、**飛沫感染、接触感染、糞口感染***であり、保育施設や幼稚園などで**集団感染**が**おこりやすく**、初めて感染した子どもの多くが発病します。治った後も長い期間便からウイルスが排出されることがありますので、トイレやおムツ交換時など注意が必要です。

○潜伏期間 **3~5日**

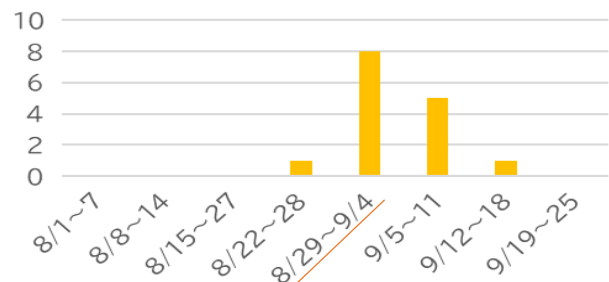
- ・水疱性発疹
 - ・発熱（高熱が続くことはまれ）
 - ・まれに髄膜炎、小脳失調症、脳炎、心筋症を起こす
- 数日間**で治ることが多いよ！



県内のRSウイルス感染症の発生状況



県中地域のRSウイルス感染症の発生状況



RSウイルス感染症とは？

○潜伏期間 **2~8日**

- ・せき、くしゃみ、鼻水
 - ・発熱（数日続きます）
 - ・重くなると喘鳴、呼吸困難、場合によって細気管支炎や肺炎に移行
- 低出生体重児や基礎疾患がある方は特に注意！**



RSウイルスの感染による**呼吸器の感染症**です。感染と発病を繰り返し、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほとんどの児が少なくとも1度は感染するとされていますが、大人でも感染することがあります。例年冬の間流行していましたが、夏にも増加傾向にあります。感染経路は、**接触感染、接触感染**であり、**家族間の感染**や**子供の集団感染**を引き起こすこともあります。軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々な症状があり、特に乳児においては**初めて感染した場合は、細気管支炎や肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがある**と報告されています。生後3か月以内の乳児への感染は注意が必要です！

どんなことに気を付ければいいの？

手足口病もRSウイルス感染症も**有効なワクチンや特効薬はありません**。そのため、日頃からの感染対策がとても重要です。予防策としては、**石けんを使用した手洗い**です。タオルの共用はしてはいけません。よく触る場所（てすりやスイッチ）や物（おもちゃ等）は、**アルコールや塩素系の消毒剤（キッチン用ハイターやミルトン）**等による拭き取り消毒をしましょう。